

ドイツ GSF との連携を開始

2005 年 7 月 27 日

CDB は GFS 国立環境・健康研究センター (GFS National Research Center for Environment and Health, Germany) と研究分野における連携を推進するための覚書を交わした。今回で、同様の目的で交わされた公式の国際協定や覚書は 6 つ目となった。

GFS は人の健康と環境を科学し、疾病の原因となる環境リスクや発病メカニズムを解明することで、健康確保のための新たな概念の創出を目的としている。GFS はドイツ教育研究省および Bavaria 州を財源とし、約 1600 名を抱える研究所である。今回の新たな覚書により、両研究所間の研究者の訪問や招致が円滑に行われるようになり、CDB と西ヨーロッパの科学界、特に幹細胞研究や再生医学研究分野での連携がより深まることが期待される。